

2024 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2024 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「産業社会学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	5	5	3
現代社会学科 メディア社会専攻	4		1
現代社会学科 スポーツ社会専攻	1		0
現代社会学科 子ども社会専攻	1		1
現代社会学科 人間福祉専攻	0		0
計	11	5	5

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	5	32	8
現代社会学科 メディア社会専攻	3		4
現代社会学科 スポーツ社会専攻	29		14
現代社会学科 子ども社会専攻	1		1
現代社会学科 人間福祉専攻	5		4
計	43	32	31

※ 志願者は出願時に 5 つの専攻すべてに志望順位をつけて出願する。上記の各専攻の志願者数は第 1 志望として当該専攻を選択した志願者数である。

※ 合格者の専攻は、最終合格発表時に決定する。

2. 試験内容

第 2 次選考の口頭試問では、志望理由、入学後の計画、学業と課外活動の両立および社会問題への関心と知識について問いました。

3. 出題意図

産業社会学部の学びを理解したうえで、入学後の具体的な学びについて十分な意欲と計画を有しているかを確認しました。

4. 評価ポイント

産業社会学部の学びの内容を理解したうえで大学入学後の学びについて具体的な計画を有し、課外活動と学業の両立について十分な意欲を有しているか。また、学部での学びに関連する社会的問題に気づくことのできる洞察力およびそれに対する自分なりの考えと知識を評価しました。

5. 解答状況

口頭試問において、受験生の多くは産業社会学部の学びについて一定の理解を示し、入学後に学ぶ内容についても十分に検討した形跡をみとめることができました。また、社会的問題に関する自身の考えを述べることができました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

産業社会学部では学生それぞれが深く学びたいテーマを決め、学んだ内容を卒業論文としてまとめることが卒業に必要となっています。産業社会学部を志望する受験生は、産業社会学部における学びの内容を十分に理解したうえで、入学後の学びのテーマや課外活動と学業の両立についての具体的な計画を立てて欲しいと思います。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

産業社会学部では卒業論文が必須化され、学業と課外活動の両立への強い意欲を持つことが従来以上に必要になっています。理想としては、受験生が課外活動とともに入学後の学びについても意欲的に取り組めるよう、受験生が産業社会学部の学びに適合する関心をみつけ、そのことについて端緒的な学びをはじめられるような指導が望まれます。

なお産業社会学部で設置している各種の資格（教職免許や社会福祉士受験資格等）を取得することを目指す場合、所属する専攻によって取得可能な免許が制限されるものもあります。加えてクラブ活動との両立が困難な資格もあるため、出願にあたっては必ず産業社会学部事務室まで問い合わせのうえ、確認してから志望専攻を決めるようにご指導いただくようお願いいたします。

以上